

# 仕事と子育てを両立しています！



## 波多江 萌

基本図情報部  
国土基本情報課 係長

- 利用した制度
  - ・育児休業
- 現在も利用している制度
  - ・休憩時間の短縮
  - ・フレックスタイム制度 (子供の用事に対応するため)

育児休業(約9ヶ月)は、一旦仕事を離れて育児に全力を注ぐことができる、かけがえのない経験でした。子供の成長を実感しながら充実した日々を過ごすことができました。同じく職員である夫も約1か月間の育児休業を取得し、家事育児に奮闘してくれました。復職は、ちょうど新型コロナウイルス感染拡大防止の緊急事態宣言中でした。復職と同時にテレワーク勤務となったため、最初は戸惑いましたが、職場のテレワーク設備の普及が一気に進んだため、今は働き方の自由度が拡大したと感じています。現在は、フレックスタイム制等を利用し勤務時間を定められた枠内で調整しています。これによって子供の用事に対応することができています。職場には様々な育児・介護の支援制度があり、上司や周囲の人々の理解も得やすい雰囲気があるため、仕事と家庭を両立しやすい環境だと感じています。



## 上芝 卓也

地理空間情報部 情報企画課  
ワンストップサービス係 係長

- 利用した制度
  - ・配偶者出産休暇
  - ・育児参加のための休暇
  - ・育児休業
  - ・休憩時間の短縮
  - ・フレックスタイム制度 (子供の保育園送迎に合わせるため)

長女7才、次女5才、長男2才の三児の父親です。長女が生まれた時に6か月、次女の時は3か月、長男の時は1年、妻と交代で育児休業を取得しました。育児休業時には、ミルク・離乳食の準備、子供の遊び相手のほか、病院や入園準備等を一手に引き受けました。また、家事の大部分を分担し、次女や長男の育児休業時には上の子の保育園送迎も加わり、慣れるまではとても大変でしたが、子供の成長を最も身近なところで見ることができました。国土地理院では私が利用した以外にも様々な制度や手当があり、職場も育児に対して理解があるので、男性職員で育児休業を取った先輩も多く、とても働きやすい環境です。また、職場復帰後もサポートが充実しており、子供が風邪を引いたなどの突発的な休暇や残業等の業務量についても配慮があり、妻と二人三脚で家事・育児をすることができています。

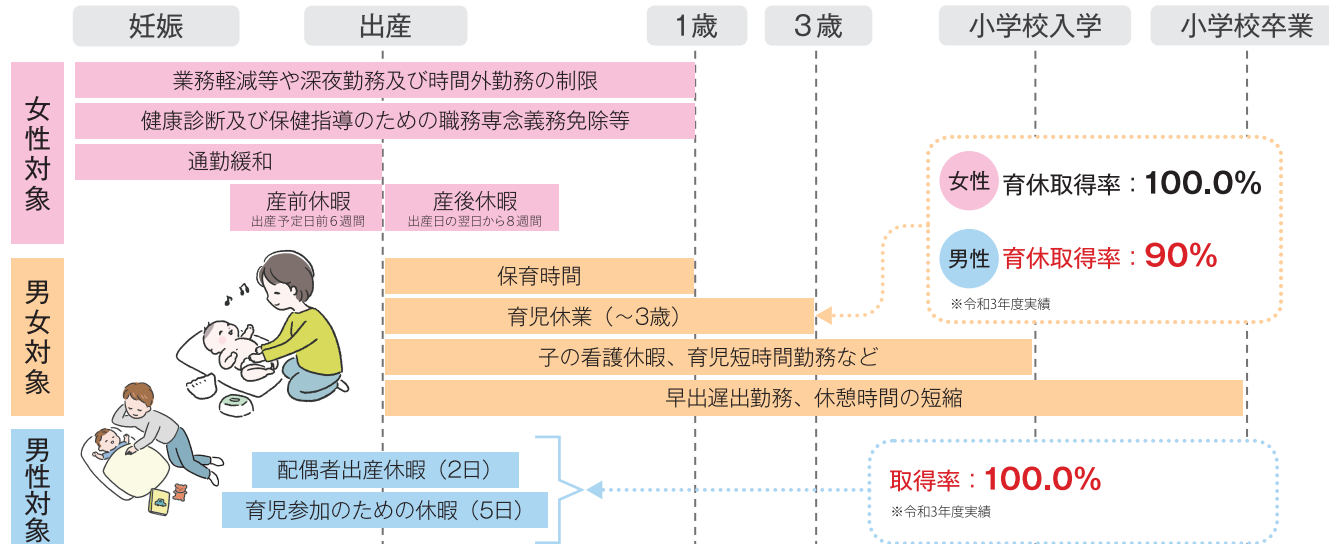
## ワークライフバランス 仕事と家庭の両立支援

職員が、仕事でのパフォーマンスを十分に発揮しながら、より充実した生活を送れるように、ワークライフバランスを支える制度が充実しています。

### 仕事と子育ての両立のための制度

※一部の制度を紹介しています。

各種の支援制度を計画的かつ効果的に利用できる職場環境づくりが大事です。職場内には「仕事と子育ての両立等に関する制度に係る相談員」が複数名おり、職場が一体となって両立支援に取り組んでいます。



**超過勤務の縮減** 超過勤務を原則として月45時間以内とすることを目標とし、定時退庁を促進するため、毎週の「健康と家庭の日」や、毎月の「完全消灯日」と「残業ゼロの日」に取り組んでいます。

**休暇の取得促進** 月に1日以上の子供の年次休暇の取得(ポジティブオフ)など計画的な休暇取得を促進しています。また、夏季休暇を有効に活用するため、一週間以上の連続した休暇取得を目標とした「連続休暇取得推進キャンペーン」に取り組んでいます。

**フレックスタイム** 公務の運営に支障がないと認める範囲内で、総勤務時間数を変えずに、1日の勤務時間や始業・終業時刻を柔軟に設定することができる制度です。

**テレワーク** 職場に出勤せずに自宅などからリモート勤務を行うことで通勤時間が削減されることにより、育児や介護を行う職員をはじめ全ての職員がワークライフバランスを確保しながら仕事の成果を出せる働き方です。

## 国土地理院のココも知りたい

### 給与

**初任給** 総合職(大卒程度) 241,800円~  
一般職(大卒程度) 227,592円~  
一般職(高卒者) 193,256円~  
※茨城県つくば市又は東京都小平市に勤務する場合の金額です。  
※採用前の学歴・職歴等に応じて加算があります。

**昇給** 年1回  
**賞与** 年2回支給(6月及び12月)  
**諸手当** 扶養手当、地域手当、住居手当、通勤手当、単身赴任手当、超過勤務手当など

### 勤務時間や休暇

**勤務時間** 7時間45分/日(8時30分~17時15分) (一部の地方測量部は時差通勤あり)  
**休日** 土曜日、日曜日、祝日、年末年始  
**休暇** 年次休暇20日(4月採用の場合は15日/年)  
※20日まで翌年に繰越可能  
特別休暇(夏季休暇3日、結婚、出産、忌引など)  
休暇の種類に応じて規定日数以内で取得可能  
このほか病気休暇、介護休暇など

### 福利厚生

**共済組合制度**  
職員は各種の給付や福祉事業などを受けられる国土交通省共済組合に加入します。  
・病気治療、出産、休業などへの各種給付金  
・臨時の支出に対する資金の貸付、積立貯金、人間ドック費用の助成  
・福利厚生を目的とした宿泊・レジャー等の各種余暇支援サービスや、育児・介護・健康等の生活支援サービス

### 健康管理

・年1回の定期健康診断のほか、特別の健康診断や女性職員のための婦人科検診などを実施します。  
・心の健康対策として、仕事や家庭などの様々な悩み事を経験豊富なカウンセラーや専門医に相談(秘密厳守)できる制度があります。

### 宿舎

業務の必要性に応じて、公務員宿舎に入居することができます。

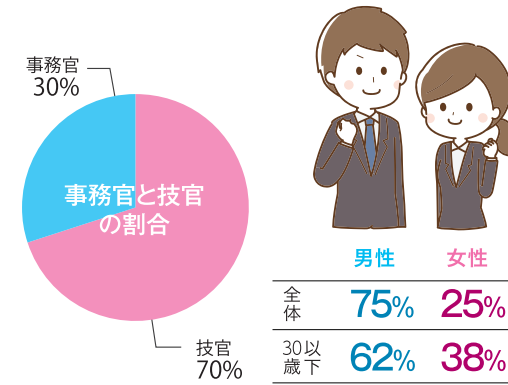
### 部活動・サークル

休日や勤務時間外にいろいろなクラブが活動しています。本院では、サッカー、硬式テニス、軟式野球、バレーボール、バドミントン、茶道、うたごえ、コリナと活動は多彩です。クラブ活動を通して充実した時間を過ごし、たくさんの仲間と交流することができます。

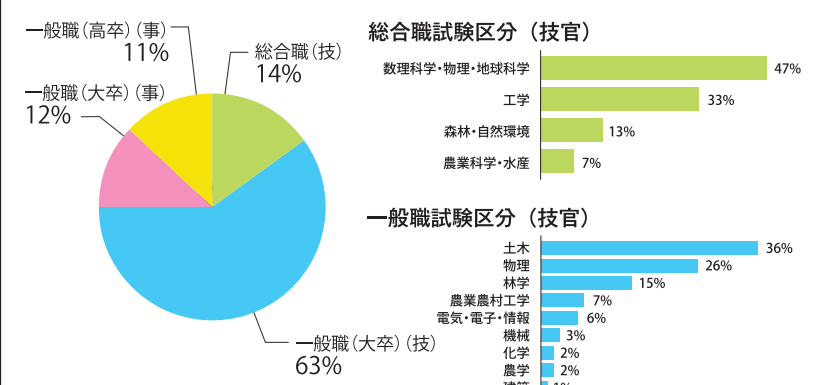


## 数字でみる国土地理院

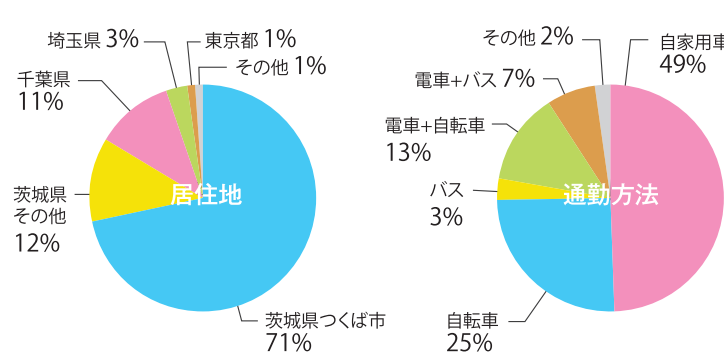
### 職員構成(常勤職員)



### 採用試験区分(平成25年度採用以降)

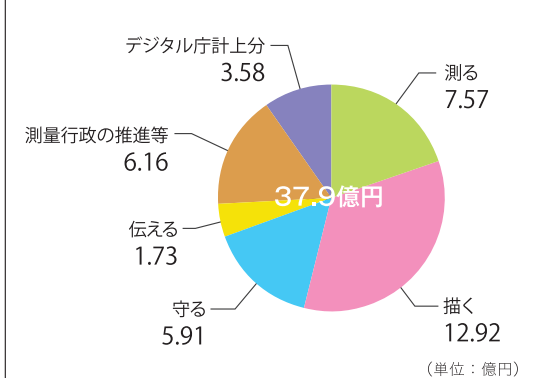


### 職員の居住地・通勤方法(30歳以下の本院勤務の職員)



電車通勤者は最寄り駅から国土地理院まで以下の方法で通勤するケースが多いです。  
・研究学園駅から自転車を利用  
・つくば駅もしくは研究学園駅からバスを利用

### 予算(国土地理院の役割でみる内訳)



令和6年度当初予算額は89.2億円  
※グラフは国土地理院の運営に必要な経費(51.35億円)を除く